

1971

LIOJ

OFFERS  
SPECIAL  
INTENSIVE  
COURSES  
IN  
ENGLISH

WINTER—8 WEEKS

SPRING—2 WEEKS

# 冬期 8 週間と春休み 2 週間

## 英語特訓課程ご案内

### 目的および特色

日本で唯一の全寮制による TOTAL IMMERSION 方式の本課程は：

1. 英語の読解力を完全にし
2. 英文読書の速度と理解力を促進
3. 論文の発表、スピーチコンテスト、演習などにより豊かな表現力を育成し、海外での留学、国内での英語による業務をより円滑にすると共に流動する世界に雄飛し、東西文化の融合に貢献する新しいタイプの国際人に教育することを目的とします。

場所 ……………LIOJ：神奈川県小田原・アジアセンター内

アジアセンターは箱根山を背に相模湾に面した高台の景勝の地にあり、地下2階地上5階の近代的な建物にはLL教室、図書室、大ホールのほか、海外生活と同じ雰囲気 of 宿泊設備、食堂、談話室を備え、冷暖房も完備している。

### 受講資格

男女・年齢に関係なく高校卒業程度の英語力を有するもの

#### ■Staff for Spring Term 1971

Mr. Rowland Harker (Principal)	
Miss Toneko Kimura (Director of Studies)	
Miss Ann Barber	University of Redlands (Calif.)
Miss Carol J. Bullen	Chatham College (Pennsylvania)
Miss Judith Craig	Mackinac College (Michigan)
Mr. Michael Davidson	Occidental College (Calif.)
Miss Melinda Evans	University of Washington (Washington)
Miss Kay Guffey	University of Redlands (Calif.)
Mr. Warren Hamilton	University of California, Berkeley (Calif.)
Miss Sheryl Hetjok	Occidental College (Calif.)
Mr. David Johansen	Lewis & Clark College (Oregon)
Mr. Raymond C. Martin	Mackinac College (Michigan)
Mr. David A. Orr	San Francisco State College (Calif.)
Mr. Gregory Peterson	La Verne College (Calif.)
Miss Betty Price	Whitworth College (Washington)
Mrs. Patricia Toyrylla	University of Texas (Texas)
Miss Beryl Wright	Macalester College (Minnesota)
Advisor and Teacher	Mr. Hugh Wilkinson (Professor of Aoyama
Advisor and Lecturer	Mr. Sen Nishiyama (Gakuin University)
Student Advisor	Mrs. R. Harker
Director and Business Manager	Mr. Nobuo Hattori
Executive Director MRA Foundation	Mr. Masahide Shibusawa

# 冬期特訓課程 8週間コース

期日……1971年1月10日～3月6日

## LECTURE & PRACTICE PROGRAM

- A. パターンプラクティスを主体とした「生きた英語」の基礎訓練、音声学、イントネーション、表現法の演習。
- B. 英語発想による英作文の学習。
- C. スポークンイングの技術向上のための強化実習、最新の視聴覚教育の演習。
- D. 海外時事問題の研究。
- E. 海外生活に必須のマナーの実習、(女子学生のための海外生活に役立つ特別クッキングレッスンも希望があれば行う)
- F. 各種ヒアリングの訓練と講義。
- G. パブリック、スピーキングの演習。
- H. スペリング、語彙、速読の勉強法の習得。
- I. フォーマルディナーパーティ。
- J. 選択科目：英文学、新聞編集、英文タイプ、西洋史、社会学、エチケット、アメリカ大学生活等の特別講座。
- K. スピーチコンテスト。

◎自由時間や食事・お茶の時間には小グループで国際間の政治・経済・宗教から海外留学や、人生観に至るまで若い外人講師と話し合う機会もあります。

参加費 (授業料、器具使用料、宿泊、食費その他一般生活費8週間合計)

148,000円

参加申込金 (参加費と別) 5,000円

定員 30名 (定員に達し次第締切ります)



# 春休みを効果的に

## 2週間の英語セミナー

期間……………1971年3月14日～3月27日

### 目的及び特色

「生きた英語」の習得と完全な英語力の育成

毎年本センターで南カリフォルニア大学とLIOの共催で開かれる英語教育ワークショップの研究を実際に応用した画期的なプログラムです。

2週間の特別訓練中は、アジアセンターで参加者は若い外国人学生と生活を共にし、英語で考えを表現するリビング・イングリッシュと、生活のスタンダードを学びます。

このプログラムは全面集中教育で、授業演習から食事、スポーツ、レクリエーションにわたる生活の全部を英語で行い、日本語は一切使いません。

### 〈一日のスケジュール〉

7:30……………朝食  
8:00～12:10……………インストラクション5課程  
12:15……………昼食  
1:00～3:00……………課外活動、自由時間  
3:00～5:30……………インストラクション(ランゲージ・ラボ演習)  
6:00……………夕食  
7:30～9:00……………映画、音楽など夜のプログラム

◎週末には特別プログラムがあります。

参加費……………40,000円(2週間合計)

(授業料、器具使用料、宿泊、食事他一般生活費も含む)

参加申込金(参加費用と別)……………5,000円

定員……………60名(定員に達し次第締切ります)

# LIOJ

## LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

LIOJ特訓課程は、英語というメディアを通じて、世界の平和と繁栄に具体的に貢献する人物をつくることを目的として、昭和43年3月に開講いたしました。

短期間に、かつ集中的な特別教育をするために、受講者にはかなりの負担と思われませんが、過去6回におよぶ受講者は、全員これに堪えて、すでに多数の方々が海外の勤務先で大いに活躍しております。

「生きた英語」という建前から、日本語は一切使わず、すべて英語による若い外人講師との共同生活は、日本人特有の外人コンプレックスをとりのぞき、英語力の自然な発達を促す上に非常な効果があったと好評をうけております。

スタッフには第一高等学校(旧制)、青山学院大学等で教鞭をとられ、我国の英語教育には特に経験の深いローランド・ハーカー先生夫妻を中心にアメリカ一流の各大学から15名の男女講師が来日、その他青山学院大学のウイルキンソン教授、同時通訳の西山千氏らも顧問として参加されます。

言語はその国の生活と文化の総合的な表現であり、言葉を知ることは、その国の本当の姿を知ることでもあります。将来、世界に雄飛し、東西文化の融合につくそうと思われる方々が、ふるって参加されることを希望いたします。——財団法人 MRAハウス 代表理事 渋沢雅英

- 
- LIOJ 第1回 特訓本課程 (1968年3月～7月)  
第2回 " ( " 9月～12月)  
第3回 " (1969年3月～7月)  
1969年 夏休み英語特訓およびワークショップ (7月～8月)  
第4回 特訓本課程 (10月～1970年2月)  
第5回 " (1970年3月～7月)  
1970年 夏休み英語特訓およびワークショップ (7月～8月)  
第6回 特訓本課程 (10月～1971年2月)  
冬期および春休み特訓課程 (1971年1月、3月)  
第7回 特訓本課程 (4月～7月) 申込受付中  
1971年 夏休み特訓およびワークショップ (7月～8月) 予定)  
第8回 特訓本課程 (10月～1972年2月) 予定)



●MRAハウス：東京都港区南麻布4丁目9番17号 〒106 Tel. 445-5111

●MRAアジアセンター：神奈川県小田原市城山4-14-1 〒250 Tel. 0465-22-6133